

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・毎週開催の会議において、代表者自ら社員に向け経営目標・営業情報の共有を行い、社員一同話し合いの場を設けている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守において、会議にて周知し遵守する体制を構築している。 ・飲酒の際は、会社より運転代行代を支給することで飲酒運転の防止を図っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・注文書・発注書については専務による最終確認を励行し、不正競争に関与しない体制を構築している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・全社員でのSDGs委員会を開催し、事業活動が社会や環境に及ぼす影響についてバリューチェーン分析を通じて正と負の影響を把握し、改善に取り組んでいる。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・退職時に知的財産保護に関する誓約書の受け入れを行っている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の保管については、場所を決めて漏洩しないよう管理を徹底している。 ・不要な個人情報についてはシュレッダーを使用し適切に廃棄している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様アンケートを実施し、お客様との対話を大切にしている。 ・業者や職人との打ち合わせについては対面・非対面に関わらず情報共有を密に行っている。 ・クレームについては全社員へ共有し、改善に取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・今後の事業承継について代表者の役割を段階的に引継ぎを行い検討・対策を行っている。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメント防止について全社員に周知し、社内での差別や人権侵害撲滅に取り組んでいる。 ・性別・年齢・障がい・国籍等多様な人材を受け入れる体制を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場に応じて安全喚起を含めたミーティングを実施し、安全な労働環境を整備している。 ・現場における危険管理の講習を定期的に受講し、安全管理に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・プライベートと仕事の両立を図れるよう、定時退社を基本とし、プライベート行事等で有給休暇を取得しやすい環境を整備している。 ・会社としての長期休暇(正月、GW、お盆等)を1週間以上設け、ワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得や講習会費用を会社負担とすることで、適切な能力開発に取り組んでいる。 ・セミナーや展示会に積極的に参加することで、スキル向上の機会を提供している。 ・新入社員へのOJTを実施し、心のケアとして定期的に専務が面談を行い育成している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年一回の健康診断を会社負担にて受診している。 ・定期的に社長との面談の機会を設け、相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性社員も多く、女性が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・お客様や取引先との打ち合わせについてはWEBミーティングを活用している。 ・オンラインセミナーの受講を推奨している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・施工プランやチラシ作成の際、AIを活用し効率化を図っている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物については法令に則り、適切に管理・処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー管理システム「HEMS」にて自社のエネルギー使用量を把握、自動抑制機能により削減している。 ・社用車に電気自動車、ハイブリッド車を導入し、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。 ・事務所は一部LED照明にすることでエネルギー効率向上に取り組んでいる。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エネルギー管理システム「HEMS」の自動抑制機能にてエネルギー使用量を抑制し、二酸化炭素の削減に取り組んでいる。 ・太陽光発電システムを設置し、自家消費することで二酸化炭素排出量の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・お客様にZEH基準・BELS認定取得の住宅や、太陽光発電システムを設置した住宅を提供することで、環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。 ・電気自動車やハイブリッド車の導入や社屋に太陽光発電システムを設置することで環境に悪影響を及ぼさないよう取り組んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・プレカット工法により加工された材料を使用することで廃棄物の削減に取り組んでいる。 ・不要な木材については薪として再利用している。 ・卵の殻を再生利用した「エッグウォール」を使用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水機器の提案・販売・設置により、水資源の質と量の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・卵の殻を再生利用した「エッグウォール」を使用している。 ・高品質・高機能断熱材(アイシネン)を使用することで、環境にも配慮し、快適・安全・安心な家を提供している。 ・環境に配慮された事務用品の利用を推進している。								9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所周辺に植栽を行うことで、地域内の緑の創出に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・社用車に電気自動車やハイブリッド車を導入することで、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。 ・社屋に太陽光を設置し、再生可能エネルギーを利用している。 ・お客様にZEH基準の住宅や、太陽光発電システムを設置した住宅を提供することで、エネルギー効率の見直しや再生可能エネルギーの利用に貢献している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・顧客宅にて病気にかかった庭木を当社にて治療し、再度植栽を行う事で持続的な樹木の整備を行っている。					6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・社内での分別を徹底し、プラスチックの使用量削減のためにマイボトルを持参している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・電気自動車・自転車・徒歩で通勤することで環境に配慮している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・一部の建物については第三者評価機関が「建築物の省エネ性能」を認証するBELSを取得しており、環境面での品質を担保している。 ・保証期間の延長や瑕疵担保保険等のアフターサービスを充実させ、お客様のご要望に迅速に対応できる体制を整備している。 ・第三者機関での定期点検を実施し、公平な検査を実施している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・手すりやスロープ等のバリアフリーの提案・施工を積極的に行うことで誰もが利用しやすい環境を整備している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県産の木材等を積極的に利用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・お客様に木造の住宅の提供をしている。 ・事務所の柱や壁等に木材を使用し、木質化に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・お客様にZEH基準対応住宅や太陽光発電システムを提供することで、再生可能エネルギーの利用促進を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域でのリフォーム相談や対応を行うことで地域とのコミュニケーションを図っている。 ・町内会の活動に積極的に参加している。 ・お客様主催の行事や地域のスポーツ大会への協賛を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所、現場においてハザードマップを確認し、社員へ共有し事前防災対策に取り組んでいる。 ・建築用地を選定する際にはお客様とハザードマップを確認し、想定される自然災害による被害の軽減や防災対策を共有している。 ・飲料水の備蓄を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16 17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・全社員でSDGsの環境・社会・経済に対して会社が及ぼす影響等を確認し、勉強会を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17